

福知山市商工会 企業業況調査

令和元年7月調査結果(6月実績 調査対象 82件) (令和元年9月20日公表)

■景況感

	今回調査数	現状		先行3ヶ月		先行1年		
		今回	前回	今回	前回	今回	前回	
全体	82	40.9	33.6	41.2	38.1	35.7	33.1	
地域別	三和	19	38.2	27.6	39.5	32.9	36.8	30.3
	夜久野	26	38.5	32.3	43.3	39.6	32.7	38.5
	大江	37	43.9	40.5	40.5	39.9	37.2	31.1
業種別	製造業	23	45.7	39.6	50.0	41.7	44.6	38.5
	建設業	22	54.5	47.7	51.1	48.9	38.6	42.0
	卸小売業	14	27.5	22.9	32.1	20.8	25.0	16.7
	サービス業	23	31.5	23.9	28.3	33.0	30.4	27.3

景況感DIの算出方法

回答構成比(%)に、以下の点数を乗じてDIを算出
 良い+1.0、やや良い+0.75、どちらともいえない+0.5、やや悪い+0.25、悪い+0.0
 (すべてが「どちらともいえない」と回答した場合、DIは「50.0」)

景況感DIは40.9と前回調査よりも7.3ポイントのプラスになった。地域別に見てもすべての地域においてプラスとなっており、特に、三和がプラス10.6と回復幅が大きく、夜久野、大江もそれぞれ6.2ポイント、3.4ポイントプラスになっている。三和については、前回調査時のマイナス18.6ポイントの反動も考えられる。業種別では、すべての業種においてプラスとなっており、特に、サービス業がプラス7.6ポイント増と堅調であり、建設業がプラス6.8ポイント増、製造業の6.1ポイント増、卸小売業が4.6ポイント増となっている。

先行調査においても、先行3ヶ月が41.2、先行1年が35.7と、前回との対比ではそれぞれ3.1ポイント、2.62ポイント増となり、先行きについて多少明るい材料が見えているようである。地域別では、全般的にプラスであるが、先行1年先の夜

■経営動向

○製造業・建設業

	今期		前年同期比		前期比	
	今回	前回	今回	前回	今回	前回
引合			-13.3	0.0	-26.7	-13.0
売上			4.4	-4.3	-13.3	-15.2
採算	±0	6.5	-8.9	-6.5	-15.6	-23.9
資金繰り	-2.2	-17.4				
業況	-15.6	-17.4				

経営動向DIの算出方法

「良い」とみる割合(%)から、「悪い」とみる割合(%)を引いてDIを算出

(「良い」と「悪い」の割合が同じ場合、DIは「0」)

(製造業・建設業)グループと、(卸小売業・サービス業)グループに分類して集計をしている。

○卸小売業・サービス業

	今期		前年同期比		前期比	
	今回	前回	今回	前回	今回	前回
売上			-24.3	-41.2	-21.6	-55.9
客数			-37.8	-47.1	-27.0	-58.8
客単価			-18.9	-29.4	-13.5	-47.1
採算	-13.5	-38.2				
資金繰り	-27.0	-44.1				
業況	-40.5	-61.8				

★今期の経営動向

採算においては、製造業・建設業のプラス6.5ポイント、卸小売業・サービス業のプラス24.76ポイントと堅調さ出ている。

また、資金繰りや業況についても、すべての業種でプラスとなり、特に、卸小売業・サービス業の業況については、プラス21.3と大きく、回復傾向が顕著である。

★前年同期比、前期比

製造業・建設業においては、前年同期比では引合い及び採算は悪化しているものの、売上の改善幅がプラス8.7ポイントと高く、売上の数値のみ高い状況である。前期比においては、引合いはマイナス幅が大きくなっているものの、売上及び採算では改善傾向が見て取れる。小売業・サービス業においては、前年比及び前期比ともに、すべての数値においてプラスになっている。特に、前期比でのプラス幅が大きく、季節要因等も考えられるが、経営状況もある程度改善方向が伺える。

ただし、個々の今期の回答においては、製造業・建設業では56%が、卸小売業・サービス業の54%の事業者が、収支ト

■今期直面している経営上の問題点 (業種別上位5項目 項目の後の()は前回順位、業種の後の数字は選択された数)

	製造業(54)		建設業(47)		卸小売業(31)		サービス業(56)	
1位	従業員の確保難(2)	18.5%	従業員の確保難(1)	25.5%	競争の激化(1)	19.4%	設備の不足、老朽化(1)	14.0%
2位	設備の不足、老朽化(1)	16.7%	仕入価格の上昇(3)	14.9%	需要の停滞(2)	16.1%	従業員の確保難(4)	14.0%
3位	需用の停滞(6)	13.0%	設備の不足、老朽化(4)	12.8%	仕入価格の上昇(3)	9.7%	仕入価格の上昇(3)	12.3%
4位	経費の増加(5)	11.1%	消費者ニーズの変化への対応(5)	10.6%	消費者ニーズの変化への対応(4)	9.7%	需用の停滞(2)	12.3%
5位	仕入価格上昇(3)	7.4%	競争の激化(2)	10.6%	販売価格の低下(5)	6.5%	競争の激化(7)	10.5%

5位	事業承継(7)	7.4%		従業員確保難・人件費増 設備老朽化(7)	6.5%	販売価格の低下(9)	10.5%
----	---------	------	--	-------------------------	------	------------	-------

全体的な傾向としては、前回調査でも上位にあげられた事項が今回も上位を占めている。製造業の従業員不足が、建設業同様にトップに上がってきている。卸小売業・サービス業の1位に変更はないものの、サービス業においては、「従業員の確保難」が前回4位から2位浮上し、卸小売業以外での最重要課題となっている。

特に、「従業員の確保難」がダントツである建設業においては、全体の51%が業況は良いと回答している中、売上増や経営力強化を図るためにも、この課題克服に向けた取組みの緊急性が伺える。

この調査は、福知山市商工会会員事業所を対象として、景気判断や経営動向等を明らかにし、売上向上を目指した事業計画の策定、販路開拓や商品開発、事業承継、経営改善等経営力向上を推進する基礎資料として活用することを目的に実施しています。

次回は令和元年7月～9月の状況について、令和元年10月に調査する予定です。商工会の支援員が調査にお伺いします。調査対象の事業所様には引き続きご協力のほどよろしくお願いいたします。